



令和5年度八千代市立村上東小学校

だるま

令和5年5月2日(火) No.1

4月の子どもたち・地域・教職員を振り返り

〔はじめに〕

4月1日に本校に着任いたしました「池浦一寛」(いけうら かずひろ)です。一年間よろしくお願いいたします。

はやいもので、令和5年度も1か月を終えました。4月10日に一年生101名を迎え、576名の子どもたちと47名の教職員でスタートした今年度ですが、保護者の皆様にとって、スタート1か月はいかがだったでしょうか。5月11日(木)〔1年2組は5月12日(金)〕に初めての授業参観と学級懇談会を予定しております。お子様の学校での様子をご覧いただくとともに、担任による学級経営方針などを共有していきたいと考えております。ぜひ、学級懇談会までご参加くださりますよう、よろしくお願いいたします。

〔村上東小学校に着任して〕

本校の現状を私は、「**学ぶ意欲にあふれる子供たち、PTAを中心に地域で子供たちの成長を支えようとする保護者・地域の皆様、時間を惜しまず子供の指導に当たる教職員**」と感じました。この基盤を踏まえ、今年度の学校経営の重点を以下の4点としています。

- 1 子供の可能性やよさを引き出し、伸ばす教育の推進
- 2 理科教育を中心にして、各教科における主体的・対話的で深い学びの授業づくりの推進
- 3 教育を核とした持続可能な地域社会の構築
- 4 ICTの活用した業務の見直しによる働き方改革の推進

この中で、子供の資質・能力を伸ばすためにも、教職員の働き方を見直すためにも重要なキーワードとして、今年度「ICTの活用」を推進しています。

子供の学びを適切に把握し、学習の成果を客観的に評価し、次の課題に向けた効果的な学びにつなげるためにも、私たちは、授業で効果的なICTの活用を行い、子供の学

力向上につなげていきたいと考えています。

同時に、教職員が子供の変容に向き合う時間を確保するためにも、その働き方を見直すことは最優先の課題となっています。私たち教職員の働き方の現状をとらえる指標の一つとして、「勤務時間」と「業務の見直し」が示されています。教職員の働き方改革への取り組みについては、別の機会にお話しいたします。

〔子供の学力向上〕

子供の学力向上のためにICTを活用した授業改善は重要です。文部科学省が令和2年6月に示した「教育の情報化に関する手引―追補版―」では、各教科等の指導におけるICT活用について示されています。この中で、「学校におけるICTを活用した（効果的な）学習場面として、10の分類が示されています。

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p> <p>A1 教師による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p> <p>B1 個に応じた学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p> <p>B2 調査活動</p> 	<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p> <p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>
<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>

（「教育の情報化に関する手引―追補版―（第4章）」より引用）

ホームページの中でも紹介していますが、本校でもすでに今年度、A（一斉学習）のA1（教師による教材の提示）の場面、B（個別学習）のB1（個に応じた学習）の場面やB2（調査活動）の場面で積極的にICTを活用する授業が見られています。

また、今後ICTの活用が可能な場面として、B4（表現・制作）の場面、C（協働学習）のC1（発表や話し合い）の場面やC2（協働での意見整理）の場面が考えられます。

さらに、学習内容によっては、本校でもC3（協働制作）やC4（学校の壁を越えた学習）についても、効果的なICTの活用ができるのではないかと考えています。

効果的な活用のためには、「あの先生だから…」「あの学年だから…」ではなく、学

校として、年間指導計画に位置付け、誰でも等しく学ぶ機会が与えられるようにする必要があります。この点については、校長のリーダーシップの下、先生方の状況や意見を踏まえて、取り組んでいきたいと考えています。

〔保護者の負担軽減〕

村上東小学校の地域というわけではありませんが、保護者から多い要望として以下のものがあります。

- 1 欠席連絡を電話でなく、アプリでできるようにしてほしい。
- 2 学校からの手紙を電子データにして、スマホに送ってほしい。
- 3 学校からの連絡をメールで受け取れるようにしてほしい。

本校では、3については、以前から「ライデンメール」で実現してきましたが、1については、「ホームページからだ遅れないことが多くて困っている」「結局電話しか方法がない」というご意見をいただいています。

また、2については、今まで積極的に活用してきてはいませんでした。なぜなら、「ライデンメール」だと送れないものがあったり、届かないことがあったりしたため、導入しづらいところがありました。

そこで令和5年度から、保護者と学校の連絡ツールとして、新たに「tetoru (テトル)」を導入することとしました。大きなメリットとしては2つです。

ひとつは、1の解決方法としてスマートフォンのアプリ上で行えること。もう一つは、2の解決方法として、学校だより等の手紙をPDF形式のデータで送信できることです。



5月2日（火）にお子様を登録するために必要な手紙を、学級ごとに配付いたしますので、ご協力くださいますよう、お願いいたします。登録完了と同時に、欠席連絡が可能となります。また、「6月の学校だより」をtetoru（テトル）で配信をいたします。今後、他のお手紙でも可能なものから順次対応していきます。将来的に、紙での配付を少なくしていく予定です。

〔学校ホームページを活用した学校公開〕

最後に、今年度の学校ホームページについて、少しお話しします。

昨年度までと同様に、学校の様子や授業の様子などについて、積極的に学校ホームページに掲載していきます。今年度は、写真による公開とともに、動画による公開にも取り組んでいきます。普段の何気ない授業の様子や子供たちの学びの姿を発信したいと考えています。

基本的に毎日更新していきますので、ぜひご覧いただけたらうれしいです。

ライデン(令和4年度までのもの)	内容	tetoru(令和5年度からのもの)
○	学校からの連絡(学校一斉)	○

また、ホームページの「お知らせ」も積極的に活用いたします。保護者の皆様に有益な情報が掲載できるよう、頑張っていきます。ぜひ、1日1回本校のホームページにおいていただけたら、うれしいです。